

子供達へ 自分を見つめ直す勇気が、未来を変える

——時代とともに「正しさ」は変わる

みなさんは、「昔は正しいと思われていたこと」が、今では間違っていたとわかるようなことを聞いたことがありますか？

たとえば、昔の人は「太陽が地球のまわりを回っている(天動説)」と信じていました。でも、それは科学の進歩によって間違いだったとわかりました。

また、少し前までは「たくさん働いてお金を稼ぐことが、幸せな人生につながる」と思われていました。でも今は、「働きすぎで体や心をこわす人が多い」ことが問題になっています。自然や地球のことを考えずに成長を続けることで、気候変動が進んでしまったことも、後になってから気づいたことのひとつです。

このように、「正しい」と思っていたことでも、時代が変われば「そうじゃなかったかもしれない」と気づくことがあります。

それを素直に認めること——つまり**自分の考えを見直す勇気(自己否定)**は、とても大切です。

いじめも、同じです。

「みんながやっているから」「前からそうしてきたから」と、いじめや仲間はずれを正当化してしまうことがあります。でも、本当にそれは正しいことでしょうか？

今は「自分がされて嫌なことは、人にもしてはいけない」というのが当たり前だと多くの人が思っています。でも、もしも昔の考え方のまま、「がまんするのが当たり前」「ちょっとくらいならいいだろう」と思い続けていたら、誰かが傷つき、助けを求めても見過ごされてしまいます。

「前はこうだった」ではなく、「これからどうするか」

過去のやり方を変えるのは、こわいことかもしれませんが。

でも、自分の考えや行動をふり返って、「まちがっていたかもしれない」と思える人こそ、本当に強い人です。

「失敗は成功のもと」ということわざがあります。

それは、言いかえると「自分を見直すことが、成長のもと」という意味でもあります。

もし過去に誰かを傷つけたことがあっても、もし自分が間違っていたと気づけたなら、それを認めてあやまり、やり直すことができます。そして、同じまちがいをくり返さないようにすればいいのです。

変わっていい。間違えてもいい。でも、ふり返って考えることを忘れないで。

大人も、先生も、みんな完璧じゃありません。大切なのは、「いつでもやり直せる」ということ。そしてそのためには、「自分が間違っていたかもしれない」と思える**心の柔らかさ**が必要なのです。

あなたがその一歩をふみ出せたら、まわりも少しずつ変わっていきます。

それが、よりよい学校、よりよい社会をつくる第一歩になります。